

◆教員養成の質の向上に係る取組

・学内に教職センターを開設し、経験豊富な教員が教職を目指す学生のサポートをしている。幅広い教養や専門知識を身に着け、教育現場で即戦力として活躍できる教員を養成するために、教材研究や生徒指導方法などの指導をしている。教職センターは教員を志望する学生が集い、仲間同士が教員採用試験合格の目標の達成に向けて、教員としての力量向上を目指しながら課題解決に取り組むことができる場所となっている。

・「学生による授業改善アンケート調査」を各学期に実施している。P D C Aサイクルの中の「C H E C K」機能の一部として位置づけ、アンケート結果は授業別に集計し、各授業担当教員にフィードバックしている。

・教員など教育機関に勤務する卒業生で組織される「札幌大学教友会」において、毎年8月に大学を会場として各教科に分かれた研修会を実施している。学生は研修会に参加することで、教職のあり方や学校・生徒の現状を学ぶことができる。

・札幌市教育委員会の「学生ボランティア事業」や特別支援学校などの学校ボランティア募集を通して、教職をめざす学生が毎年学校現場におけるボランティア活動に参加している。
今後は教員を目指す学生の教員としての質を高めるために北海道教育委員会主催の「草の根教育実習」にも学生を積極的に派遣する予定である。